

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 四国財務局長

【提出日】 平成26年7月14日

【四半期会計期間】 第55期第1四半期(自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)

【会社名】 株式会社マルヨシセンター

【英訳名】 Maruyoshi Center Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 佐 竹 克 彦

【本店の所在の場所】 香川県高松市南新町4番地の6

【電話番号】 (087)831 9191

【事務連絡者氏名】 取締役副社長 加 藤 宏 道

【最寄りの連絡場所】 香川県高松市国分寺町国分367番地1

【電話番号】 (087)874 5511

【事務連絡者氏名】 取締役副社長 加 藤 宏 道

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第54期 第1四半期 連結累計期間	第55期 第1四半期 連結累計期間	第54期
	自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日	自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日	自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日
売上高 (千円)	9,579,380	9,955,244	39,928,412
経常利益 (千円)	19,159	34,815	210,729
四半期(当期)純利益 (千円)	1,846	6,082	50,229
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	8,194	25,383	48,688
純資産額 (千円)	2,346,896	2,404,325	2,403,766
総資産額 (千円)	20,184,355	20,971,857	19,600,687
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	0.22	0.74	6.11
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	11.5	11.2	12.1

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等を行なわれておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の向上や雇用情勢の改善が進むなど、総じて堅調に推移いたしました。この期間は消費税率引き上げにより、3月の駆け込み需要、4月はその反動と個人消費は不安定な動きとなりました。

スーパーマーケット業界におきましては、消費税率引き上げの影響は5月以降持ち直しつつありますが、業種・業態を超えた競争が継続する中で、依然厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは「健康とおいしさ」の経営方針のもと、季節感のある売場や当社独自商品の展開を進めてまいりました。また、5月末からの新経営体制により、顧客ニーズの掘り下げによる商品開発、売場展開をさらに進めるとともに、従来からの作業手順や経費の総見直しに着手しております。

このような取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は99億55百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益は95百万円（前年同期比9.1%増）、経常利益は34百万円（前年同期比81.7%増）、四半期純利益は6百万円（前年同期比229.5%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

流動資産は、商品が1億1百万円減少した一方で、現金及び預金が15億25百万円増加したことなどにより、前期末に比べ14億63百万円増加し、46億1百万円となりました。

有形固定資産は、前期末に比べ86百万円減少の138億47百万円、無形固定資産は、前期末に比べ2百万円減少し、5億81百万円となりました。

投資その他の資産は、投資有価証券が22百万円増加した一方で、繰延税金資産が22百万円減少したことなどにより、前期末に比べ6百万円減少の19億25百万円となりました。

繰延資産は、前期末に比べ3百万円増加し、15百万円となりました。

(負債)

負債は、前期末に比べ、13億7千万円増加し、185億67百万円となりました。その主な内訳は、長期、短期を合わせた借入金が8億68百万円減少した一方で、買掛金が14億4千万円、社債が1億64百万円、賞与引当金が1億1千万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産は、利益剰余金が18百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金のマイナスが14百万円減少したこと、少数株主持分が5百万円増加したことなどにより、前期末に比べ微増の24億4百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	21,750,000
計	21,750,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年5月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年7月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,749,990	8,749,990	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は、1,000株であります。
計	8,749,990	8,749,990		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年5月31日		8,749,990		1,077,998		813,528

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 460,000 (相互保有株式) 普通株式 94,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,195,000	8,195	
単元未満株式	普通株式 990		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	8,749,990		
総株主の議決権		8,195	

- (注) 1 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成26年2月28日)に基づく株主名簿による記載をしております。
- 2 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式550株が含まれております。
- 3 「完全議決権株式(その他)」の株式数欄及び議決権の数欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権1個)が含まれております。

【自己株式等】

平成26年5月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社マルヨシセンター	香川県高松市南新町 4番地の6	460,000		460,000	5.26
(相互保有株式) 株式会社レックス	香川県綾歌郡綾川町 東分乙60-7	94,000		94,000	1.07
計		554,000		554,000	6.33

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成26年3月1日から平成26年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成26年3月1日から平成26年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	754,767	2,280,425
売掛金	95,840	176,261
商品	1,922,918	1,821,273
繰延税金資産	80,376	119,457
その他	284,716	204,212
流動資産合計	3,138,620	4,601,629
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,292,919	17,319,353
減価償却累計額	11,630,329	11,736,925
建物及び構築物(純額)	5,662,590	5,582,427
機械装置及び運搬具	1,959,816	1,970,765
減価償却累計額	1,691,173	1,697,830
機械装置及び運搬具(純額)	268,642	272,935
工具、器具及び備品	2,602,870	2,599,031
減価償却累計額	2,384,411	2,387,373
工具、器具及び備品(純額)	218,459	211,658
土地	7,387,860	7,387,860
リース資産	617,430	645,246
減価償却累計額	221,231	252,428
リース資産(純額)	396,198	392,817
有形固定資産合計	13,933,751	13,847,698
無形固定資産	584,796	581,849
投資その他の資産		
投資有価証券	455,795	478,612
繰延税金資産	462,546	439,655
差入保証金	862,548	861,647
その他	172,663	166,907
貸倒引当金	21,998	21,509
投資その他の資産合計	1,931,555	1,925,314
固定資産合計	16,450,103	16,354,862
繰延資産		
社債発行費	11,962	15,365
繰延資産合計	11,962	15,365
資産合計	19,600,687	20,971,857

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,464,096	3,904,444
短期借入金	2,885,000	1,360,000
1年内償還予定の社債	172,000	222,000
1年内返済予定の長期借入金	2,305,660	2,702,958
未払法人税等	50,029	53,403
賞与引当金	98,605	208,671
ポイント引当金	31,574	31,601
その他	794,219	1,297,179
流動負債合計	8,801,184	9,780,257
固定負債		
社債	462,000	576,000
長期借入金	6,375,444	6,635,065
退職給付引当金	926,083	946,058
役員退職慰労引当金	193,930	196,104
資産除去債務	86,653	87,095
その他	351,625	346,951
固定負債合計	8,395,736	8,787,274
負債合計	17,196,921	18,567,532
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,077,998	1,077,998
資本剰余金	813,528	813,528
利益剰余金	718,578	699,793
自己株式	193,482	193,482
株主資本合計	2,416,622	2,397,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,083	39,965
その他の包括利益累計額合計	54,083	39,965
少数株主持分	41,226	46,453
純資産合計	2,403,766	2,404,325
負債純資産合計	19,600,687	20,971,857

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	9,579,380	9,955,244
売上原価	7,355,833	7,580,746
売上総利益	2,223,547	2,374,497
営業収入	313,406	317,900
営業総利益	2,536,953	2,692,398
販売費及び一般管理費		
販売促進費	190,496	203,720
消耗品費	67,161	93,368
運賃	154,666	155,230
賃借料	15,686	10,266
地代家賃	201,532	204,689
修繕維持費	94,859	108,165
給料手当及び賞与	1,022,999	1,044,994
福利厚生費	130,754	132,995
賞与引当金繰入額	76,333	99,936
退職給付費用	28,712	25,652
役員退職慰労引当金繰入額	2,567	2,974
水道光熱費	196,885	223,170
減価償却費	141,254	149,227
その他	125,525	142,564
販売費及び一般管理費合計	2,449,436	2,596,958
営業利益	87,517	95,439
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,062	747
保険配当金	3,819	3,949
受取手数料	1,693	1,655
その他	1,962	3,013
営業外収益合計	8,538	9,366
営業外費用		
支払利息	73,194	66,115
その他	3,702	3,874
営業外費用合計	76,896	69,990
経常利益	19,159	34,815
特別損失		
固定資産除却損	1,079	1,112
特別損失合計	1,079	1,112
税金等調整前四半期純利益	18,079	33,702
法人税、住民税及び事業税	39,494	46,396
法人税等調整額	27,102	23,958
法人税等合計	12,392	22,437
少数株主損益調整前四半期純利益	5,686	11,265
少数株主利益	3,840	5,182
四半期純利益	1,846	6,082

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,686	11,265
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,881	14,118
その他の包括利益合計	13,881	14,118
四半期包括利益	8,194	25,383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,008	20,157
少数株主に係る四半期包括利益	3,813	5,226

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務等

西淡まちづくり(株)の中小企業高度化資金借入に係る当社取締役の兵庫県への連帯保証について次のとおり再保証をしております。

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
当社代表取締役 佐竹文彰	253,160千円	253,160千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
減価償却費	169,897千円	177,487千円
のれんの償却額	2,161千円	2,161千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月29日 定時株主総会	普通株式	24,868	3	平成25年2月28日	平成25年5月30日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月29日 定時株主総会	普通株式	24,868	3	平成26年2月28日	平成26年5月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)

当社グループは、報告セグメントが小売事業のみであり、当社の業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。なお、「その他」には、レストラン等が含まれております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額	0円22銭	0円74銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,846	6,082
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,846	6,082
普通株式の期中平均株式数(株)	8,223,640	8,223,640

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため、記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 7月10日

株式会社マルヨシセンター
取締役会 御中

優成監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 加 藤 善 孝 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 本 間 洋 一 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 柴 田 直 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社マルヨシセンターの平成26年3月1日から平成27年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成26年3月1日から平成26年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成26年3月1日から平成26年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社マルヨシセンター及び連結子会社の平成26年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。